

令和4年度 北九州市部活動地域移行モデル実践



©teitan&black-teitan, City of Kitakyushu

令和4年12月3日(日)
北九州市教育委員会
生徒指導課

令和4年度北九州市部活動地域移行モデル実践

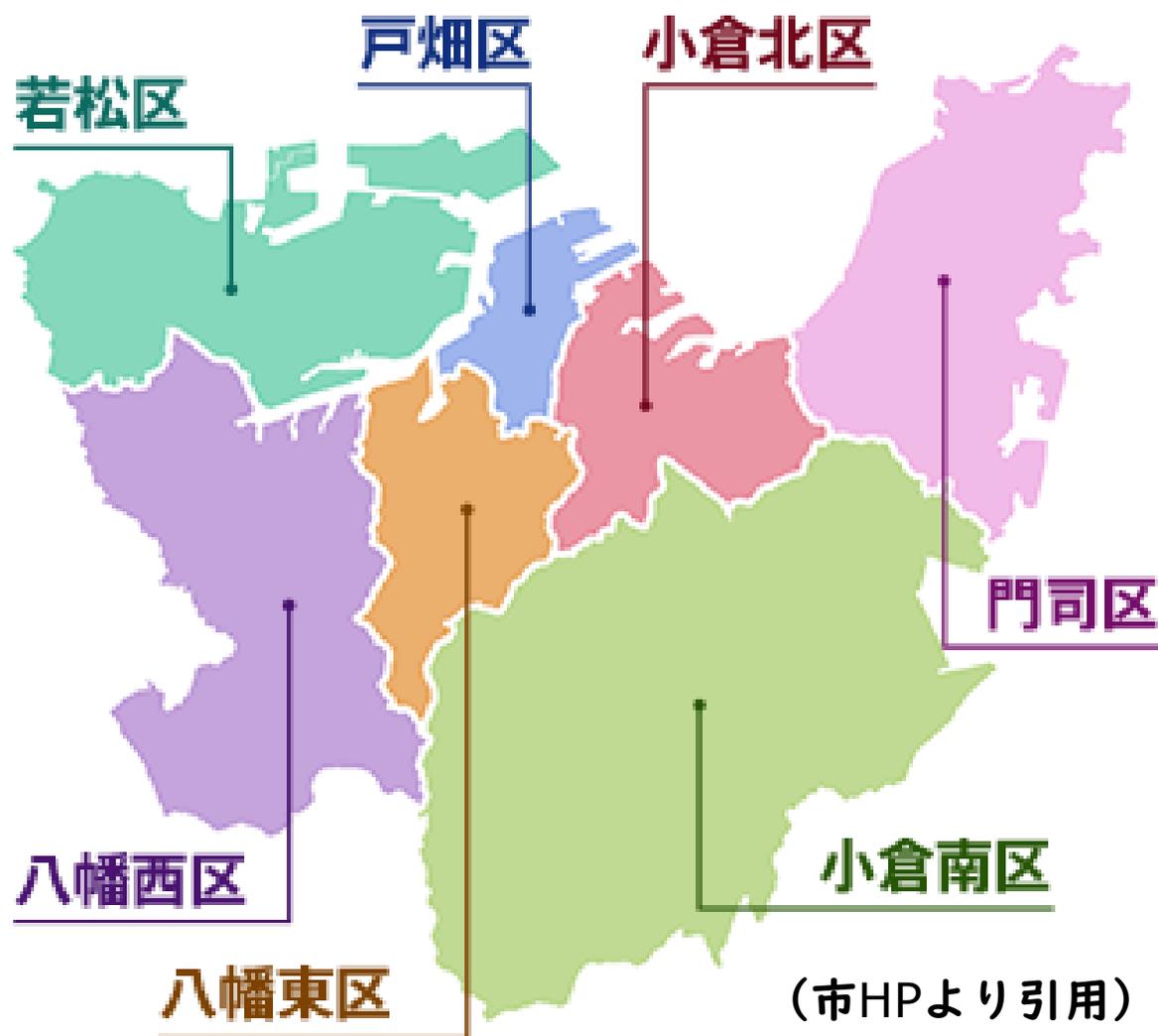
説明の内容



©teitan&black-teitan, City of Kitakyushu

- 1 北九州市の概要
- 2 モデル実施に当たっての考え方
- 3 令和4年度地域移行モデル実践

1 北九州市の概要 (R4.5現在)



【人口】
926,221人

【中学校数】
62校

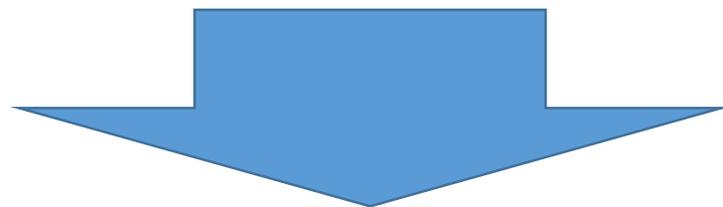
【生徒数】
22,383人

【部活動数】
運動：555
文化：184

I 北九州市の概要（R4.5現在）

【北九州市の課題】

人口流出・少子高齢化・産業構造の変化



【北九州市の部活動における課題】

- 単一校での活動が困難
- ◆ 大規模校と小規模校の活動の格差
 - ・ 設置数、大会参加、指導者など

2 モデル実施に当たっての考え方

- 将来的に北九州市で行うことのできる取組
- 課題に応じたもの

【Keyword】



循環

2 モデル実施に当たっての考え方

総合型地域スポーツクラブ

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多目的）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

部活動の地域移行 提言

に継続して親しむことができる機会を確保。
○スポーツは、自発的な参画を通じて「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。
○地域の持続可能で多様なスポーツ環境的を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。

※スポーツ庁HPより

3 令和4年度地域移行モデル実践

【5校5部活でのモデル実践】

| モデル校 (種目) | 委託先 | 指導員 | 主な活動日 | 主な活動場所 |
|------------------------|----------------------------|-----|-----------------|-------------------|
| 菊陵中 (野球部) | NPO法人 北九州スポーツクラブ ACE | 4人 | 毎週土曜日 午前 | 小倉中央小学校 足立小学校 |
| 篠崎中 (陸上部) | | 5人 | 毎週土曜日 午前 | 篠崎中学校 鞘ヶ谷陸上競技場 |
| 白銀中 (バスケット ボール部) | | 4人 | 毎週土曜日 午前 | 白銀中学校体育館 |
| 穴生中 (バレー ボール部) | | 5人 | 毎週土・日曜日 いずれか | 穴生中学校体育館 |
| 高見中 (卓球部) | 北九州市卓球協会 | 2人 | 毎週土曜日 午前 | 高見中学校武道場 |

3 令和4年度地域移行モデル実践

【陸上競技部】

循環

○ 陸上競技場での
練習によるコミュニティの形成



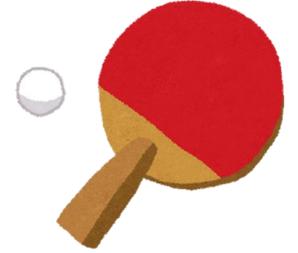
→ 多くの人の目で見てもらい、
多くの助言を得ることが可能

→ 陸上競技の「つながり」の拡大



3 令和4年度地域移行モデル実践

【卓球部】



○ 北九州市卓球協会に運営委託

→ 卓球協会の抱える課題

- ・ 少子高齢化、普及

→ 学校の抱える課題

- ・ 専門的指導のできる顧問の不在